

社会学ゼミ卒論執筆要綱

2023年11月6日

1. 卒論の提出時期と提出方法

- ・卒論は、本提出の前に予備提出をしてもらう。予備提出の期日は**1月15日**である。事前に何の連絡もなく予備提出しなかった場合には、本提出しても卒論が合格しない可能性がある。
- ・本提出の期日は**1月31日**である。期日までに提出されなかった場合には、卒論の単位は認定されず、その年度の卒業はできなくなる。
- ・予備提出、本提出とも、moodleの「社会学卒業論文」のページ内に設置する提出ボックスに、**ワードファイル**を提出する。

2. 卒論の全体構成および体裁

- ・全体の構成は、表題ページ／目次／本文／謝辞等／参考文献／参考資料の順とする。
- ・図表は本文にとって不可欠なもののみ本文中に挿入すること。
- ・図表を除いた本文が、**18000字以上24000字以内**とする。
- ・「卒論テンプレート」をダウンロードして、その書式で執筆すること。
- ・指導教員への謝辞は不要である。

3. 論文の各部分で書くこと（詳しくは、卒論テンプレートを参照）

3.1 問題意識

- ・「問題意識」の章では、研究を導く中心的問い（リサーチクエスション）を、疑問詞（なぜ、どのようにして、どのくらい、何が、等々）を含む疑問文の形で明示すること。
- ・最後の段落で、論文の構成（何をどういう順に述べていくのか）を予告すること。

3.2 先行研究

- ・「先行研究」の章では、参考文献から自分の問題意識にかかわる部分を整理して紹介し、自らの問題意識との関連を述べること。とくに、先行研究で明らかにされていることと、自分が卒論で明らかにしようとするのがどのように異なるのかをはっきり書くことが重要。
- ・記述にあたっては、先行研究に書いてあったことと自分自身の考えとを明確に区別すること。先行研究の著者の文章をそのまま引用する場合には「」でくくり、直後に（著者名 出版年：引用ページ）の形式で出典を示すこと。

（例）中根智枝は、従来の近代化論を「西欧にないような社会現象を一括して、日本の後進性とか、封建遺制と説明する傾向が強かった（中根 1967: 16）と批判している。

著者の文章を自分なりにまとめ直して紹介するときには、その部分の末尾に（著者名 出版年：引用ページ）の形式で出典を示すこと。

（例）中根智枝は、日本と西欧を比較して、西欧にない社会現象は日本の後進性や封建遺制によるものであると説明する従来の近代化論を、単純な発展段階説に依拠するものであるとともに西欧コンプレックスの現れであると批判している（中根 1967: 15-16）。

3.3 データと方法

- ・「データと方法」の章では、分析で使用したデータの収集方法やその概要を述べること。

3.4 分析と考察

ここは研究内容に応じていろいろなスタイルがあるので、指導教員と相談しながら書き方を決めること。

3.5 結論

- ・「結論」の章では、自分の分析・考察から分かったことをもう一度簡潔にまとめること。
- ・先行研究が明らかにしたことと、自分の研究で分かったこととをつき合わせて、一致している点や相違点を明確にし、その理由を考察すること。
- ・問題意識で述べたリサーチクエスションに対する自分の「答え」を、論文全体の結論として明示すること。

3.6 参考文献

- ・参考文献は、著者名の五十音順に配列すること。同一著者は刊行年順にすること。
- ・著者名、刊行年、書名・論文名、掲載雑誌名（論文の場合）や掲載書名（論文集の中の論文の場合）、巻号（雑誌の場合）、出版社名（著書の場合）、ページ数の順に書くこと。書名と雑誌名は『』、論文や調査報告やその他の文献名は「」でくくること。
- ・インターネット・ホームページを参照した場合は、著者、ホームページ名、URL、アクセス年月日を記載すること。

4. 全体を通じた執筆上の注意

- ・原則として、章および節の最初の段落では、その章・節で何を論じるのかを予告し、章および節の最後の段落では、その章・節で論じたことを要約する。
- ・専門用語、業界用語、調査対象者たちのあいだで使われている言葉を用いるときには、初出時にその意味を説明すること。重要なものは本文中で説明し、より重要性の低いものは脚注で説明すること。
- ・本文中に表や図（グラフ、写真、画像など）を挿入した場合、その表や図から何が分かるのかを本文中できちんと述べること。
- ・箇条書きはできるだけ避け、原則として、文章のかたちで書くこと。

5. 提出前に必ずチェックすること

- ・目次にページは入れたか？
- ・目次と実際の論文の内容は一致しているか？
- ・誤字脱字はないか？
- ・漢字変換ミスはないか？
- ・日本語としての文法的誤り（主語述語の不一致、助詞の誤用、など）はないか？
- ・図表には通し番号とタイトルが（図は下に、表は上に）ついているか？
- ・参考文献リストの書き方は正しいか？
- ・修正候補はすべて「承諾」したか？
- ・コメントはすべて削除したか？（コメントは「解決」するだけでなく「削除」すること）